

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市児島障がい者支援センター
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖 180 番地 名称 社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 山崎 要
(3) 公の施設の所管部署	社会福祉部 障がい福祉課
(4) 評価対象期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	今年度は、「他機関との連携」を重視して評価した。 指定管理者への聞き取りや自己評価によると、地域での活動の場を積極的に広げ、地域の様々な組織と積極的に連携・イベントの企画を行ったこと、また、連携を密にとることを目的としたケア会議の開催や、高齢者支援センターとの交流により、利用者に対する継続的なサポートができる体制づくりを進めている姿勢は評価できる。	総合評価
		A
(2) 指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者（児）及びその家族等が住み慣れた地域の中で生活していけるよう、相談支援・情報提供を面談や電話また訪問等により行い、障がい者等の生活支援を行った。 ・関係機関等の連携については、積極的に情報収集・情報共有を行い、関係機関をふくめたケア会議を適時開催した。また、介護保険へ移行する利用者が年々増えており、高齢者支援センターが主催する「ケアマネ交流会・研修会」に参加し、スムーズに移行ができるよう情報交換を行った。 ・サロン活動については、利用者の意向を反映した行事等を多くの工夫を加えて開催し、参加者の好評を得ることができた。 ・「はばたきふれあい祭り」は、好天に恵まれ 610 名の参加があり盛大に開催することができた。 ・ボランティアの参加促進と継続については、「はばたきふれあい祭り」当日に多くの学生ボランティアの参加があったほか、日々のサロン活動にもくらしき♡心ほっとサポーターやボランティアの参加があり、定着と継続を進めることができた。 ・研修や倉敷地域自立支援協議会の各部会活動への参加、基幹相談支援センター訪問型 OJT を受け、職員の資質・支援能力 	

	の向上および知識の習得を図ることができた。
(3) アンケート結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 90%以上の利用者が、事業内容や職員の接遇等に概ね満足している。 ・ 施設の設備及びサロンの充実についての要望・意見があった。 ・ アンケート結果については、別紙のとおり。

3 施設の利用状況

(1) 利用実績		今年度	前年度	特記事項（前年比）	
	利用登録者	237人	240人	99%	
	施設利用者	15,637人	16,705人	94%	
	相談支援	面接相談	3,884件	4,146件	94%
		電話相談	8,363件	8,870件	94%
		家庭訪問	517件	580件	89%
	ケース調整会議	157件	192件	82%	
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活支援：卓球，カラオケ，囲碁将棋，簡単クッキング等 ・ 季節行事（花見会，クリスマス会など）・はばたきふれあい祭り ・ 在宅福祉サービスの利用援助 ・ 相談・情報提供 ・ 特定相談支援事業及び障害児相談支援事業 ・ 地域交流・啓発活動 				

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	37,003千円	
	市からの指定管理料（委託料）	35,194千円	
	利用料金	1,737千円	
	その他の収入	72千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	35,833千円	
	主な支出	人件費	25,940千円
		光熱水費	1,647千円
		修繕料	90千円
		備品購入費	0千円
		消耗品費	319千円
		施設管理委託費	972千円
		その他経費	6,865千円